

慶良間諸島国立公園 ステップアップ プログラム2025

取り組み推進のための
ワークショップ

ニュースレター
Vol. 3

国立公園満喫プロジェクトの取り組みの一つである「ステップアッププログラム2025（以下、SUP2025）」を具体的に進めることを目的に、令和4年度から地域関係団体の実務担当者が参加するワークショップを開催し、地域の皆さまが主体的に取り組むための意見交換、情報共有を行っています。

今年度もワークショップを開催し、昨年度検討した2025年度までの目標・取組を具体的に進めるため、参加者同士で課題の共有、連携・協働の可能性などについて検討、意見交換を行います。

第1回は、取組のテーマごとにグループに分かれて話し合いました。



第1回

2025の目標達成に向けて、今年度の取組を進めよう！



開催概要

【座間味村】

日 時：2023年6月12日（月） 15:10～17:10
場 所：座間味村歴史文化・健康づくりセンター
参加者：地域関係者10名

【渡嘉敷村】

日 時：2023年6月14日（水） 17:00～19:00
場 所：渡嘉敷村中央公民館
参加者：地域関係者11名

当日のプログラム（両村共通）

- ① 開会・挨拶
- ② SUP2025の改定と行動計画の作成について
- ③ グループワーク
2025の目標達成に向けて、
今年度の取組を具体的に考えよう！
- ④ 発表・全体意見交換



当日は取組テーマごとに座間味村では2グループ、渡嘉敷村では3グループに分かれて議論が行われました。

はじめに、昨年度挙げられた2025年度末のゴールの再確認を行い、進捗状況・取組の課題を共有しました。

グループワークの後半は、次回ワークショップまでの取組と年度末までの取組を検討して意見交換を行い、グループごとに話し合いの結果を発表しました。



グループワークの成果@座間味村



取組内容	2025年度末までの目標	次回WSまでの取組	今年度末までの取組
受入態勢の充実	民宿協会のような団体の設立 観光客が食事に困らないような飲食店情報の発信	・ 民宿or飲食事業者を集めたLINEグループへの声掛け	・ LINEグループ作成 →乗船券の販売状況：来訪者数を事前に共有し、それに合わせて準備できる仕組みを構築
コンテンツの磨き上げ、体験メニューの多様化	星空保護区への加入	・ 9月にダークスカイ協会が来島し視察 ・ 街灯のチェック ・ プラネタリウム稼働	・ 天体イベントとのコラボ ・ 村民への説明（夜間消灯の協力依頼等）
	雨天時・冬季の体験メニュー造成、強化、提供	・ 陸域ガイド養成講習を実施	・ 講習実施→ガイド増員につなげる
持続可能な利用の実現	宿泊客数、冬季の集客数UP	・ 島あっちいの事業で星空の先生を呼ぶ ・ 村プロモーションビデオをSNSやWEBで発信し誘客	・ 島あっちいで高付加価値ツアーの造成 ・ 星空案内人を増やす ・ プロモーションビデオ活用の効果検証
	海域の共通ルールの作成（全団体共通） 団体に属さない方への海のルールの周知（海外の方を含む） マリンレジャー等のルール作り 海域知識が高いガイドサービス業の提供 ザトウクジラを特定自然観光資源に指定 重要な繁殖海域「トナキゾネ」周辺の国立公園区域編入	・ エコツーリズム推進協議会の機能を復活し、関係団体で連携 ・ エコツーリズム推進全体構想、エコツーリズムガイドラインの見直しや再構築 ↓ まずは ・ ルールづくりのための勉強会を開催する ・ エコツーリズム推進全体構想の勉強会を開催する	・ 課題解決のため、エコツーリズム推進全体構想を利用する方法を検討する ・ 渡嘉敷村との紳士協定を言語化し、自主ルールに盛り込むため、団体間で話し合う
その他	6次産業化し、ケラマブランドの特産品を開発	・ 遊休農地の活用：畑のマッチングのためのポスターを作成して周知 ・ 地域循環共生圏プラットフォーム事業を活用し、現地視察・勉強会等を開催（7月～8月）	・ 加工場で作業できるよう事務手続き等を行う
	村内行事やイベントを活用した集客	・ アフターコロナイベントの通常開催	・ イベント開催の検証

※グループワークの成果には、団体としての意見だけではなく、個人としての意見も含まれます。

グループワークの成果@渡嘉敷村



取組内容	2025年度末までの目標	次回WSまでの取組	今年度末までの取組
受入環境整備	阿波連ビーチの環境整備（駐車場、施設）	・役員会を開催して内容を固める	・役場、林野庁など関係機関との話し合い
	渡嘉敷区部落内・道路の景観整備、防犯灯の整備	・目標の理解を図り、伐採メンバーを確保	
受入態勢の充実	渡嘉敷、又は3島連携した付加価値の高いツアーの造成 ガイド必須のツアーづくりと人材育成	・これまでに造成したツアーの担い手のトレーニング機会の設定 ・来年度に向け新事業をスタート	・22年度までに行ったモニターツアーを自走（2本）
	歴史民俗資料館の利用者数を増やしたい	・県立博物館による詳細調査の日程調整 ・管理委託が可能か協議	・県立博物館に分野別の詳細調査を依頼
コンテンツの磨き上げ、体験メニューの多様化	沖縄本島の高校生対象とした探究活動プログラムの確立	・島の方々との顔を繋ぐ ・島の課題や魅力について情報収集 ・8/8からの事業の充実	・協力者の拡充＝プログラムの多様化
	島からの平和発信	・語り部の皆さんとの会議→意見をまとめる	・語り部との勉強会の内容を決める
持続可能な利用の実現	遊漁者の利用ルール作成、密漁者対策	・遊漁船や釣りの際のルール等、本島事業者を含め、各業者へ少しずつ周知する	
	海の資源の保護のため体験メニューを充実させる	・阿波連保全倉庫横を養殖用地に	・（養殖用地が確定次第）施設の設計を進め体験活動に活用
	海の利用ルールの検討（シュノーケリング、プレジャーボートの事業者も含めたルールをダイビング協会と共有）	・団体旅行の受入→責任を持って受け入れる体制づくりに取り組む	・団体内でシュノーケリング、プレジャーボートの協議会・部会を設立
	サンゴに被害を及ぼすオニヒトデ・レイシガイなどの駆除方法の検討	・日々の業務の中でオニヒトデ・レイシガイ等の生息状況を確認する	・秋口以降から駆除活動を開始する
	ダイビングポイントの利用ルールの制定	・役員間で再度議論する	
その他	特産品のアンテナショップ立ち上げ	・特産品のブランド化や商品・販売店のブラッシュアップ支援	・とかしきマラソン（2月）の参加者に効果的にPRする

第2回ワークショップの開催予定

第1回ワークショップにご参加、ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。
第2回は、以下の時期に開催し、上記の目標に向けた参加者の取組成果や課題について話し合う予定です。

【座間味村】

日時：2023年 **10月下旬**
会場：さんごゆんたく館（阿嘉）

【渡嘉敷村】

日時：2023年 **11月上旬**
会場：渡嘉敷村役場 庁舎2階大会議室

※会場や時期は
変更の可能性
があります。

次回のプログラム（予定）

テーマ：進捗状況・課題を共有し、今年度の取組推進のための対応策を考えよう！

- 第1回WSの振り返り、進捗状況報告
- 取組のさらなる推進や課題への対応策について意見交換

★2025年の目標をより具体化していくため、
「利用者数を増やす」といった目標は、
数値目標も合わせてご検討をお願いいたします。
数値目標の例：現状○人→○人に増やす、
現状より○%利用者を増やす等